



一隅を照らす運動総本部だより  
No. 46



一隅を照らす運動ホームページアドレス  
<http://ichigu.net>

## ■「一隅を照らす運動推進大会」

### ○近畿大会①

近畿教区本部(兼平明観教区本部長)では、平成二十九年四月一日に大阪府泉南郡岬町の興善寺を会場に、興善寺春会式を開催し、約八十名の参加者が集まった。

例年だと桜満開の中の時期だが、本年は桜が咲ききれず、肌寒い中での開催となった。比叡山幼稚園園長の竹林幸祥師(延暦寺一山地福院住職)を講師に迎え、「一隅について」「寺院護持について」講演された。

### ○近畿大会②

近畿教区本部(兼平明観教区本部長)では、平成二十九年五月十三日に大阪市天王寺区の本誓寺を会場に、天台宗近畿教区一隅を照らす運動を開催し、約九十名の参加者が集まった。

講演では、和歌山県社会福祉協議会介護支援専門員でもある兼平明観師を講師に「一隅を照らす」認知症について」と題して講話が行われた。超高齢社会を迎えている現在、高齢者問題として認知症の増加がある。「認知

症」という病気を理解し、認知症になった人の気持ちや家族の気持ちを考え、互いに支え合うことで認知症の進行を抑えることができたり、できるだけ長く住み慣れた地域で生活を送ることができると話をされた。これらの問題に対し、自分達になにができるかを考え行動することが「一隅を照らす」一つの方法であることを知っていただけける機会となった。

### ○栃木大会

栃木教区本部(源田俊昭教区本部長)では、「広く社会に開かれた一隅運動」を目標に一隅を照らす運動のつどいを



実施しており、今年で三回目を迎える。今年度は、平成二十九年七月九日に栃木県足利市の龍泉寺本堂を会場に開催し、一般の方々を中心に約二百六十名の参加者が集まった。

はじめに源田教区本部長が導師を勤めての法楽が執り行われ、続いて主催者を代表して挨拶された。

つぎに講演会が行われ、はじめに露の団姫師による落語「地獄八景亡者の戯れ」が演じられた。休憩をはさみ、高橋由紀氏(フルート)と平田侑氏(ピアノ)による「ミニコンサート」が披露され、最後に「一隅を照らす」覚悟の力」と題して、延暦寺一山円覚院住職の宮本祖豊師の講演が行われた。

開催にあたり事務局では、様々な広報手段を用いて開催の告知を行っており、宗内関係者のみならず広く一般からの参加を呼びかけている。参加者に



アンケートを取ったところ、六割近い方が寺院以外からの情報で開催の案内を知ったとのことで、回を重ねる毎にリピーターも増え、一般からの参加者も増加している。当日は、信徒の方々によるかき氷の接待もあり参加者の方々に好評であった。また、教区の寺院婦人会、ボーイスカウト、保育士、仏教青年会などの諸団体からの協力をいただき、大変に盛会であった。

### ○福島大会

福島教区本部(矢島義謙教区本部長)では、平成二十九年七月二十一日に福島県伊達郡川俣町のやすらぎ斎場川俣ホールを会場に、平成二十九年度天台



宗福島教区檀信徒会総会並びに一隅を照らす運動推進福島大会を開催し、約三百名の参加者が集まった。はじめに檀信徒会総会が行われ、続いて休憩をはさみ、一隅を照らす運動推進大会が開催された。講演には、中尊寺貫首の山田俊和師を講師に迎え「生きている、生かされている」と題して行われた。山田師は尊い命の中の慈悲、伝教大師の教え、金色堂の極楽世界など、生きていること、一隅を照らすことなどについて話された。

### ○陸奥大会

陸奥教区本部(千葉亮賢教区本部長)では、平成二十九年九月九日に岩手県

西磐井郡 平泉町の毛越寺を会場に、天台宗陸奥教区第二部檀信徒会ミニ一隅会、東日本大震災慰霊復興支援



写経会を開催し、約五十名の参加者が集まった。

はじめに、東日本大震災物故者追悼慰霊法要が毛越寺貫主の藤里明久師を導師に執り行わ

れた。あわせて、安置されている陸前高田市の被災松で彫られた地藏菩薩へも法要が執り行われ、早期復興が祈願された。

また、「相応和尚一千百年御遠忌」と題して、千葉亮賢教区本部長より講話が行われた。講話の中で、相応和尚の人となり、功績などをわかりやすく話され、会員一同は「常不軽の心」を忘れず、一日を大切に精一杯生き抜くことを誓われた。さらに、青森県出身の北嶺回峰行者の正井観順師の話しをされ、千日回峰行の奥深さ、大変さと、厳しさに会員一同は心を打たれた様子であった。

写経は「延命十句観音経」を書写し、毛越寺法務部長高倉弘明師より写経の意義、所作、功德を学び、震災復興を祈念し、一字一字丁寧に心を込めて書写されていた。

大震災より七年目となるが容易に復興は進んでおらず、今後とも教区、一隅、菩提寺の行事を通じて物心両面の支援を行い、早期復興を願うことが大切だとの声を大勢の会員よりいただいた。

### ○京都大会

京都教区本部(若林節哉教区本部長)では、平成二十九年十月十八日に京都市左京区の眞正極樂寺真如堂を会場に、伝教大師降誕会一隅大会を開催し、約百五十一名の参加者が集まった。

午前十時より眞如堂本堂において伝教大師降誕会法要として、参加者全員にて伝教大師和讃を奉読、引き続き写経会を開催し、般若心経を写経した。昼食後、会場を本坊書院へ移し公演としてエスペランサのふたりによる、フルート、オカリナ、ベースの演奏が披露された。つぎに講演として「一隅を照らす」を演題に露の団姫師による講演が催された。落語家である団姫師は、

伝教大師の御心をわかりやすく、時にユーモアを交えながら話され、参加者は熱心に耳を傾け、会場は笑顔にあふれ、盛会のうちに閉会することができた。

### ○東海大会

東海教区本部(柴田真成教区本部長)では、平成二十九年十月二十一日に静岡県藤枝市の安樂寺を会場に、一隅を照らす第五十七回天台宗東海教区第八部檀信徒会を開催し、約五十五名の参加者が集まった。



はじめに法楽、来賓挨拶があり、続いての講演では教区宗務所長で布教師養成所の講師でもある柴田真成師より「支えられ

て、今くおかげ様に感謝」と題して、いのちの大切さや支えられていることへの感謝について詩などを紹介されながら話された。昼食後は、部内各寺院の檀信徒代表から、寺院の近況と課題、一隅を照らす運動の取り組みが報告・紹介された後、閉会となった。

### お詫び

一隅を照らす運動推進大会の記事欄におきまして、本年度に開催された六教区七大会の報告が掲載できておりませんでした、ここにお詫び申し上げます。号にて掲載させていただきます。